

たたかえ！ ヒガシヤマン

round 39



©大畠栄里

ヒガシヤマンの返し技

【必殺技】職業欄は目田人！！

東山の若大将 作詞・作曲：ヒガシヤマン

- ♪女子力 女子力 女子力 しゃらくせえ
 - ♪女子力 女子力 女子力 おさらばさ(※)
 - ♪俺は女にモテたいぜ だけど足跡にされたいぜ
 - ♪女の尻を追いかけて 罷られてシビレるのさ
 - ♪baby だから俺を誘うなよ 絶対だぜ
 - ♪baby どうしてもと言うのなら 俺は
 - ♪全力で 全力で 全力で
 - ♪逃げてやる！ All Right！
- ※繰り返し



女子of女子

【必殺技】女子力

写真に写るときは、あごを引いて、小首をかしげて、小顔ピース。全身のオシャレに気を遣い、日々、アヒル口の練習を欠かさない。キラキラした女子力オーラで、数多くの男女を夢中にさせている…？ 次のターゲットはヒガシヤマン…!?

(・Д・;)

【考案者】大橋 侑希・榎原 愛

京都女子大学3回生。

インターシップで2週間お世話になりました。
女子力が欲しい女子大生。

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼はニヒルだ！「男心は複雑なのさ。もう少し大人になつたら僕のところへ来るといい」お前は何がしたいんだ。めんどくさいぞ、ヒガシヤマン！がんばれ、ヒガシヤマン！！

文：筒井加寿子

ヒガシ ガシ

VOL.
39 ヒガシ
2013 AUTUMN



- 01**・たたかえ!ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・東山schedule
- 05**・【特集】東山再発見
- 08**・ヒガシヤマQ&A
- 09**・ワークショップななめ読み
- 10**・おも検／季節のイラスト
- 11**・ステージサポートプラン
- 13**・Higashiyama Youth



イラスト 梅山 恵未【大阪芸術大学卒】

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじってほしい。
ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。

東山schedule 2013



	10月	11月	12月
1	火	金	日
2	水	土	月 ⑤
3	木	日	火 ②
4	金	月	水
5	土	火 ②	木
6	日	水	金
7	月	木	土 ④
8	火	金	日
9	水	土	月 ③
10	木	日	火 ②
11	金	月	水
12	土	火 ②	木 ↓
13	日	水	金 ①
14	月	木	土 ④ ↓
15	火	金 ①	日
16	水	土 ③	月 ⑤
17	木	日 ③	火
18	金	月	水
19	土	火 ②	木
20	日	水	金
21	月	木	土
22	火	金	日
23	水	土 ④	月 ⑤
24	木	日	火
25	金 ①	月 ⑤	水
26	土	火 ②	木
27	日	水	金
28	月	木	土 ↓
29	火 ②	金	日
30	水	土 ④ ↓	月
31	木	↓	火

■は休館日です

①アトリエC常設展

アトリエCは月に一度のアトリエ活動。

日曜日の午後、メンバーそれぞれが好きなことに取り組んでいます。そこで出来上がった絵画や陶芸などの作品を常設展示します。

期間:10月25日(金)~2月12日(水)

場所:お茶の間ハウス(京阪「清水五条駅」より徒歩10分)

※「お茶の間ハウス」は、高齢者を地域住民全体で見守るセーフティーネットの構築を図ることを目的に地域住民と京都女子大学の皆さんと一緒に運営している交流スペースです。

展示替え:11月15日、12月13日、1月24日

②演劇から学ぶ、働くための コミュニケーションワーク

ゲームや役者のトレーニング方法を使って、「自分を表現する」方法と一緒に探してみましょう。自己表現を体験しながら、ど
れが自分にあった方法か、どういうことに注意すべきかをさぐ
ります。同じように、「他者の表現を受け止める」体験もしてみ
ましょう。この場での人とのやりとりが、社会とのつながりが
生まれるきっかけになります。

日時:10月29日~12月17日(火曜日/7回)18:00~21:00

参加対象:現在就職活動中の学生及び、職についていない15歳
から40歳までの方

定員:10名

参加費:無料

ナビゲーター:二口 大学(俳優)・広田 ゆうみ(俳優)

申込:要予約 10月1日(火)13:00より先着順にて受付中

ヒガシガシ編集スタッフ募集!

年4回、フリーペーパー「ヒガシガシ」の発行に向けて、紙面の構成、取材、編集、印刷、製本作業を行なうスタッフを募集していま
す。ぜひ一緒に活動しましょう!



③ 東山ダンスヤード

関西で活動するダンサーが集まり、事前準備は一切無く、90分間で創作、発表します。作品が立ち上がるプロセスまで観て頂くのが「東山ダンスヤード」です！

日 時：11月16日(土)18:30～クリエーション
20:00～発表

17日(日)14:00～クリエーション
15:30～発表

入場料：クリエーション+発表 1,500円
発表のみ 1,000円
16日・17日両日通し 2,000円

問合せ：090-9986-6020(佐藤)

④ 東山コトハジメ

「クレイアニメをつくろう！」

粘土でつくったキャラクターを少しずつ動かして1コマごとに撮影し、仲間と協力して、オリジナルストーリーのクレイアニメを創りましょう。

日 時：11月23日～12月14日(土曜日/4回)
13:00～15:00

対 象：京都市に在住もしくは在学している
13歳～18歳の中高生年代の方。

定 員：10名 参加費：無料

申 込：要予約 10月21日(月)より先着順にて受付。

今までの東山コトハジメの動画をチェックしてみよう！

動画配信サイト Youtube
【キーワード】東山コトハジメ



【②・④ ④事業について】

受付日より、直接来館、または電話、E-mailにて先着順受付。

*いずれの事業も会場・問い合わせは京都市東山青少年活動センターです。

TEL 075-541-0619 E-mail higashiyama@ys-kyoto.org

⑤ ココロからダンスWS # 9 参加者募集

新しいことに挑戦してみたい人

からだを動かしてみたい人

違う自分に出会いたい人

ダンスで自己表現したい人

いろんな人と出会いたい人



初めて出会った仲間とお互いのことを少しづつ知り合いながら、3か月をかけ、ダンス作品を集団で創作します。修了公演前に、近隣の学校を訪問し、児童・生徒とのダンス交流や創作途中の作品を発表します。

こんなワークをもとに作品創作します。

○外からの刺激(例えば、音や物、環境などの情報)に対し、体を使って反応します。

○腕や背中にさわる・さわられる体感から お互いに影響し合う体の動きを引き出します。

○ワークを通じて、体感する様々なことを ことばで表現します。

○自分のからだの各場所が、どう、どこまで動くのか 意識して動かしてみる。

日 時：12月2日(月)～2013年3月27日(木)

12月中は毎週月曜日、1月からは毎週月・木曜日
18:00～21:00 (但し、祝日は15:00～18:00)

*説明会／11月25日(月)19:00～20:30

*公演準備日／3月16日(日)～18日(火)

*リハーサル／3月20日(木)

*公演日／3月21日(金祝)・22日(土)・23日(日)

*最終オリエンテーション／3月27日(木)

定 員：15名(先着順)

対 象：京都市に在住もしくは在学・在勤されている
13歳から30歳までの方

参 加 費：25,000円(30回のレッスン費用・公演費用一切込)

ナビゲーター：佐藤健太郎(ダンサー)

アシスタント：福井幸代(ダンサー)

申 込 み：10月17日(木)13:00より先着順にて受付。

東山再発見

特集

多彩なネットワークで芸術家の可能性を広げるHAPS。東山区六原学区に構える、町家を改装したとてもおしゃれなオフィスにて事務局長の芦立さやかさんにお話を伺いました。



HAPS事務局長 芦立 さやかさん

●—お名前と現在の活動について教えてください。

芦立さやかと申します。HAPS(東山アーティスト・ブレイスマント・サービス)のディレクターを務めております。

HAPSは、京都市からの委託を受けて昨年の4月から本格始動した、若い芸術家を中心とした方々をサポートする団体です。具体的には、相談窓口を開設して、芸術家からの相談を受け、HAPSが持っているネットワークや、アイデアを持っている方々をつなぎ、解決するためのきっかけをつくっています。制作方法や、展覧会の発表など美術を取り巻く環境が刻々と変化して広がりを見せており中で、相談に応えるという形でフレキシブルに対応していくというのが、HAPSです。現代美術を中心とした若い芸術家のためのコンサルティングオフィスって言つたらいいですかね。問題を解決するために、座談会を開いて色々な方が意見を言い合うことで、解決の糸口を見つけたり、悩みを共有したりすることも大事なことだと思いますし、芸大を卒業した人達は、それぞれの専門分野をもってらっしゃるので、専門分野を活かしてレクチャーを開くということなどを、どんどんできたらいいなと思っています。

●—この活動を始めたきっかけを教えてください。

京都市内に芸大が4ヶ所、京都市立芸術大学、京都嵯峨芸術大学、京都造形芸術大学、京都精華大学があります。そこから毎年1000人単位で芸術を学んだ卒業生が輩出されていますが、そのほとんどが地元に戻ってしまったり、仕事を多く得られる東京や大阪に行ってしまったり、活動の幅を広げたいということで海外に行く人もいて、最終的に京都に残って制作を続けたい人が3割に

満たないというアンケート結果があります。京都市としては、れだけ大学があり未来に活躍しうる可能性があるにもかかわらず、どんどん府外に出て行ってしまっている状態はすごくもったいないと考えています。若いアーティストの活動を専門にサポートする団体は必要です。またアーティストたちが京都に残るためにスタジオが足りないし、作品を発表の場も少ない。つまりは場づくりをする必要があるだろうということで、2009年に京都市が「若手芸術家の居住・制作・発表の場づくり事業」という計画を立て、その事業計画を受託する団体として、HAPSが立ち上りました。

●—HAPSに携わるまでにどのような経緯があったのですか？

私はもともと横浜をベースに活動をしていました。地域とアートの関係を濃くするような活動に多く関わってきました。京都市から、今の実行委員長のに声がかかり、私も立ち上げから関わるよう、誘ってもらいました。私にとっては新天地で、新しく始まる事業に関われるというのもすごく魅力的だなって思いました。

●—今までの活動で印象に残っていることは？

昨年から約1年かけてオフィスを改装してきました。築100年で、20年近く空き家だったので、当初は床も抜けそうなひどい状況でした。まだまだところどころ未完成の状態ではありますが、ようやくお客様を呼んで活動ができる段階まできたので、「お披露目会」としてトークシリーズを開催しました。「そもそもアーティストとは？アーティストってそんなにおもしろい？大事なの？」ということを改めて感じさせるようなトークシリーズを中心にプログラムを組み、8月から1ヶ月間開催しました。色々な方に来ていただいて、話の内容もすごく面白くて、毎日とても刺激的でした。

●—改装も大変だったのではないですか。

そうですね、最初はどこから手をつけたらいいのだろうと悩みました。建築リサーチチームの「RAD」と共に

各部屋をどのように使用するかを考え、ワークショップとして成立するプログラムを考えました。とりあえずゴミを全部だして、天井も全部はがすなど解体作業から始め、すっきりした状態から、ここはこういう形で広く活用できるとか、ギャラリーの壁はどういうふうにしようかとか、考えていきました。ワークショップは、講師に町家の大工棟梁や左官のペテランを迎えて、建築知識や町家のことを全然知らない人も参加できる形式で行いました。1年で延べ100人以上の方に関わっていただき、自分たちだけでは到底できなかつたことを達成することができ、本当にありがたい限りです。

●—それだけの人が関わってくださると、できあがった時の感動もひとしおですよね。

そうですね。その感動を目指して、本当の完成までまだまだ進めていきます。

活動の大きな柱のひとつに「物件を紹介する」ということがあって、そのモデルケースとしてもこのオフィスが使われています。

この辺りは10軒中1軒が空き家とも言われていて、特に路地奥は、現在の建築基準法で建て直しができない条件の家が多く、古い空き家が増えつつあります。この辺りに約1000世帯が住んでいますが、そのうち約100～200世帯が独り住まいの高齢者とも言われていて、いわば「空き家予備軍」がたくさん潜んでいる。そこをどうにか空き家ではなく、もっと活用できる場所となるとかしたいと地元の方が中心になって「六原まちづくり委員会」を発足し、H



APSはそこに参加させていただいている。地元の人たちだからこそ持っているネットワークで空き家の持ち主に貸すなど活用するように直接交渉しています。空き家の中には普通の人が住めるような物件じゃないようなケースも多々あるんですね。それが逆にアーティストにとっては面白かったり、自分たちなりに改装ができるのであれば、魅力につながるケースもあります。人によっては付加価値の高い物件としても考えられる。そんなニーズをマッチングして空き家の活用につなげていきたいと考えています。まだまだスローベースなので、今後物件数を増やしていくかなと思っています。

●—活動するにあたり、こだわりなどはありますか。

こだわりは相談者や内容に対して「こだわらない」とですかね。

相談して下さる方の中には、卒業して30年以上経った方などもいらっしゃいます。若手芸術家という表現をしましたけれども、定年を迎えた方で作品を作りたいという想いを持つ方もたくさんいらっしゃるので、気持ちが若手ならば、受け付けています(笑)

このように間口を広く設けています。間口を狭めることで、HAPSが出来る活動の幅も狭めてしまう可能性がありますので、こだわりは持ちません。

●—活動をしているなかで、面白いなと思うことはどんなことですか。

ネットワークをすごく大事にしている事業なので、日々いろいろな方々にお会いしてお話を伺いすることができるのがすごく楽しいですね。たくさん刺激を受けています。

●—辛いことはありますか？

この町家は夏がすごく暑くて、冬がものすごく寒いという…。まぬがれないだろうとは思っていましたが、想像以上の辛さが待ち受けていましたね(笑)

●—最後に、今後の展望をお聞かせください。

いろいろありますが、まずは、HAPSが継続していくこ

とですね。地元の方を含め、芸術家の方々に「HAPSがあって展覧会がうまくいった」「制作するのにすごくいい場所が見つかった」というような評価をもらえるように日々頑張っていきたいなと思っています。「いろんなところで最近HAPSという文字を見るよ」というところまでいけたらいいなと思います。

もちろんそれをするために、今後不動産業者や空き家の大家さんとの関係も深めていきたいですし、アーティストからの声も汲んでいきたいと思っていますし、たくさん課題はあります。頑張ります！

●—ちなみに、もともと京都の方ですか？

いえ、実はHAPSのメンバーは全員もともと京都出身ではないです。京都のことを知らないからこそ、新しい発見や京都の良い部分を見つけるのではないかと思っています。

●—1からのネットワークづくりなのですね。

そうですね。これまでのしがらみが無い分、縦横無尽にネットワークを広げていけるというのは強みかなと思います。まだ本格始動してからは1年半くらいなので、今後ますます名前を知ってもらえるように頑張ります。ぜひ皆さんも友達を連れて遊びにきてください。

●—ぜひ行きます！今日はありがとうございました。

HAPS Higashiyama Artists Placement Service
東山 アーティスト・プレイスメント・サービス

〒605-0831

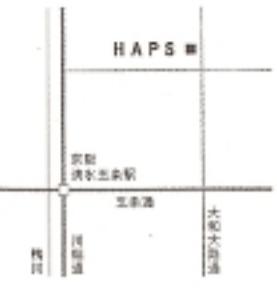
京都市東山区大和大路通
五条上る山崎町 339

TEL 075-525-7525

FAX 075-525-5722

E-MAIL info@haps-kyoto.com

HP <http://haps-kyoto.com>



取材・編集 鈴木けい(京都女子大学4回生)
夏原理恵

ヒガシヤマ Q&A

Q「無人島に1つだけ持っていくとしたら、
なにを持って行きますか?」

よくテレビでやっている無人島生活。なかなか無人島に行くことはなさそうですが、「もしも自分が無人島に行ったら……」と想像すると楽しいですよね♪そこで、今回のQ&Aでは、無人島について聞いてみたいと思います。

A. 家

全部揃っているから。
——たしかに家があったら無敵ですね。

A. くっぴーラムネ

おいしいから
——パッケージのイラストにも癒されます。

A. まくら

最初の夜を心地よく過ごしたいから。
藤村弓二 (20才 男性)
——二日目以降の夜も安眠ですね。

A. ケータイ

ケータイないと連絡できないから。
○○○ちゃん (14才 女性)
——あとは電波が通っているかどうかの問題ですね。

A. ラジオ

音楽を聴くため。
無記名 (14才 女性)
——音楽は生きてく為のマストアイテムです。

A. テント

寝るところがなかったら嫌やから。
ないわ… (15才 女性)
——テントがあるだけで安心感がありますもんね！

A. 愛

愛があれば強く生き延びられそうだから。
——メンタル面って大事ですよね。少しの空腹くらいなら容易く耐えられそうかも。



A. メガネ

見えない。

無記名 (20才 女性)

け (24才 女性)
——人によってはメガネが本体だという人もいる位ですからね。

A. 下着

恥ずかしいので。
——その発想は無かった…！ 服は着て行ってもいいんですよ！ 多分。

A. 食べ物

食べたいもんがないし。
——無人島を制覇する頃にはきっと食べたいものもみつかりそうな気がします…！

納豆大明神 (28才 男性)

タイチ (11才 男性)



work shop

東山フェスタ2013

今年で10年目を迎えた東山フェスタ。7月15日～9月1日までの期間、東山青少年活動センターで16のプログラムを実施しました。今回はそのなかから「音で観る東山」に参加した鈴木さんからの報告です。

●概要

「音で観る東山」

今回のプログラムでは、東山を「若宮八幡宮ルート」「五条坂ルート」「建仁寺ルート」の3ルートに分けてまちめぐりを行いました。ただまちをめぐるのではなく普段は意識しない音に耳を傾け、まちならではの音を感じながら東山を探しました。

参加者の方にとっては、いつも見慣れている風景を眼ではなく耳で観ることで、感じ方や印象が変わったようでした。

探索後には、自分が感じた音のイメージをちぎり絵や文字などで表す作業を行いました。音を色や言葉、絵で表す方と様々。皆さん自分が感じたままに描いていらしゃいました。

まちを歩きながら、音を意識する。それはただ耳を澄ますだけではなく、眼や耳、身体をフルに使って五感で感じるまちめぐりではないかと思います。

【開催日】平成25年8月17日(土)14:00～16:00



『音で観る東山』というタイトル通り、馴染みのある東山の道を聞こえてくる音で探し、それを絵にしました。交通量の多い大通りからちょっと路地に入ると、車の轟音はかすかに聞こえ、蝉の声や木がさわさわと揺れる音など、いつも聞こえているはずの音がとても新鮮に聞こえました。

普段はイヤホンで音楽を聞きながら、友達と話ながら、など自分の好きな音に囲まれて生活していることに気づく機会にもなり、有意義な時間となりました。



おも検、

ヒガシガシボランティアが、ちょっと気になる噂を検証する、おもしろ検証コーナーです。

五条坂の陶器まつりに行ってきました!!

この夏は沢山のイベントがありました。皆さんはどうやら行かれましたか？今回おも検では東山の夏の風物詩、五条坂の陶器まつりに潜入してきました！



今回おも検では東山の夏の風物詩の一つ、陶器市を取材しました！

五条通りは大きな観光名所ではありませんが、代々京焼、清水焼の伝承の地として全国的に知られています。その五条坂で毎年お盆前に開催されているのが「五条坂陶器まつり」です。出店店舗数は約400店、全国最大規模の陶器まつりとしても知られており、毎年全国から多くのやきものファンが訪れます。

京阪五条駅から清水坂の入り口にぶちあたるまでの五条通りの長い道のりの間に、地元の陶器業者や窯元はもちろん若手の陶芸作家も数多く出品しており、毎年非常に賑わいを見せています。普段は見る事のできないうつわや作家さんの顔を見る機会もあります。

うつわに興味のない方も、ぜひ来年はふらっと足を運んでみてはいかがでしょうか！



京都・五条坂 陶器まつり
毎年8月7日～10日
朝9時～夜10時

●検証・編集：ヒガシガシボランティア

季節のイラスト

テーマ：十五夜のお月さまの中に写るものは？

月でうさぎが餅をついている、というのは日本では昔からよくある話ですが、他の国では大きなハサミを持った力ニ、吼えているライオン、バケツを運ぶ少女、など国によって色々な見え方があるようです。たまには月に映る模様を考えながら空を見上げるのもいいですね



このコーナーでは、テーマにそったイラストを募集し、いくつかの作品を紹介していきます。

●編集：水野 里織



STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

10月～12月



■ドキドキぼーいす

「ドキドキぼーいすの紅葉狩り#02
『浮いちゃった☆』」

地球に生きている限りは『重力』には歯向かえないもの。しかし、恋する人は重力に歯向かうようにフワフワしている。

浮いてるあの子と、重たいアイツの重力体験。

10/11(金)13:00/15:30/18:00

10/12(土)13:00/15:30/18:00

10/13(日)14:00

【一般】前売 1,200円 当日 1,400円

【学生】前売 800円 当日 1,000円

○お問合せ…

dokidokiboy@gmail.com



■ぱらどっくす

第三回公演
「悩みでかなら、やらいでか。」

ある夜にある店で出会った4人。夢を諦めるか悩む学生、いじめに悩むひきこもり、人を殺せず悩む殺し屋、死ぬか悩むホームレス。80分の至極のコメディがここに。

10/18(金)18:00

10/19(土)13:30/18:00

10/20(日)14:00

【一般】前売 1,000円 当日 1,200円

【学生】前売 600円 当日 700円

学生前売トリオ割 1,500円(3名)

○お問合せ…

http://cont-paradox.com/



■劇団壱劇屋

「6人の悩める観客」

客席に俳優を、舞台上に観客を、それは当たり前だけど奇妙な二面舞台。始まらない舞台を前に悩める観客を観劇する世にも不思議なエンターテイメント。

【HP】 <http://ichigekiyaweb.web.fc2.com/top.html>

10/25(金)18:05

10/19(土)12:05/18:05

10/20(日)13:05

前売・当日とも1,500円

○お問合せ…

ichigekiyadesu@yahoo.co.jp

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、いろんな人たちに東山にある創造活動室を利用してほしい。だから次のようなグループの公演を応援しています。

① First Trial (活動経験の浅い人たち)

② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)

③ 東山のおススメ! (京都でがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

HPでも
ご覗きいただけます。

<http://www.ys-kyoto.org/higashiyama>



DE LP

I N
S I T U



■ 勝手にユニット BOYCOTT

「RE:空続きの〆切」

男はベンチに座って女を待っている。
 干渉する〆切の話は、彼に、彼女に迫っていく。
 女はどこだ。事件を探せ。男はどこだ。
 【HP】 <http://bycett.web.fc2.com/>
 【twitter】 @boycott_k

11/28(木)18:00

29(金)18:00

30(土)14:00/18:00

12/1(日)14:00

前売 500円 当日 800円

リピート割 300円

○お問合せ…

boycott_k_zeztubou@gmail.com

■ 英語劇 DELP

小中生と大学生が演劇やダンス、ミュージカルを通じて英語の楽しさを伝えます。
 子どもたちがAll Englishで演じる姿は圧巻。
 ぜひ、見に来てください！

12/7(日)14:00 ※開場13:45

大人 500円 高校生以下 700円

○お問合せ…

0909.delp@gmail.com

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

■ IN SITU

「ロング・クリスマス・ディナー」

アメリカ、ニューハンプシャー州に家を持つベヤード家の、90年間に渡るクリスマスディナーのスケッチ。
 確かにそこにある、生と死、愛と憎しみの物語。

12/13(金)19:00

14(土)14:00/19:00

15(日)14:00

前売 500円

当日 800円

○お問合せ… 080-6128-4155

■ 劇迷弁

「パンク・パン・レッスン」

とある銀行の閉店後、何やら落ち着きのない従業員。そんな中始まったのは、奇妙な訓練だった!!
 彼らは一体何をしていたのか。

【HP】 <http://gekimayodon.jimdo.com/>

12/20(金)13:00/17:00

21(土)13:00/17:00

22(日)13:00

前売 800円 当日 1,000円

地方割(京都外からのお客様)

500円(要身分証)

○お問合せ…

gekimayodon@yahoo.co.jp

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今日はお話を伺ったのは、「ドキドキぼーいづ」の代表であり、脚本・演出、俳優までこなされる本間広大さん。演劇に対する想いを語っていただきました。

男女8名で構成される「ドキドキぼーいづ」。京都を中心に活動している劇団で、10月11日(金)から13日(日)までセンターで公演が行われます!!

——グループ名の由来は?

本間 30才になったときに、ぼーいづって名乗っていたらかっこいいなっていう気持ちを込めて。あと、旗揚げしてから4年経って、その時の演劇大好きとか、お芝居したいっていう気持ちってやっぱり変化していて。その時の気持ちを残すために凄くシンプルに、ドキドキぼーいづっていう名前です。

——旗揚のキッカケを教えてください。

本間 僕が造形大のお芝居専門の学科で、1年のうちは学校内では何かの発表に関わることができなくて、時間がもったいないなと思って、自分たちの創作活動を発表できる場所が欲しいなど、学校外で旗揚げしたんです。あと、芸大、俳優育成所に行くと、上の人が偉いじゃないですか。でも、下の子が何もしゃいいけないのかつてずっと思っていて、やりたいっていう気持ちだけでやることは絶対に間違ってないと思ってて。

——これまでの活動内容を教えてください。

本間 最初の1年間は京都で公演しなかったんですよ。怖かったんです、批評されることが。最初は僕の地元や当時の劇団員の地元とかで公演を打っていて、2年目から京都で始めました。自分たちでイベントをして、演劇だけじゃなく、パントマイムやライブやってる人達と、合同でやったりとか。その後2012年に1回活動を休

止しました。

——一度活動を休止されたのはなぜですか?

本間 僕はみんなの思っていることと同じことを考えながらやりたいんですけど、そう上手くいかなかったりとか。一時期、僕は方向性を間違っていて、売れなきゃいけないと思って、売れるためのものづくりをしたんですよ。でも、内部の人間が納得できなくて。それすごくもめて、人もいなくなるし、少し待とうと思って。それで1年休んだんです。

——7月の公演から再スタートをされて、気持ちの面でなにか違いはありますか?

本間 はい。僕について来てくれる人は僕を面白いと思ってるから、僕が面白いと思ってることをやらないと納得できないみたいで。だから最近は、自分の面白いことを追求するように心がけてますね。

——コンセプトってあるんですか?

本間 コンセプトが先に決まってしまうと、そこでしか物事が見れなくなるから。記号化したくないのが強くて、言葉っていう記号にしちゃうと簡単だし、人を納得させられるから、それじゃなくていいかな。見に来た人にそれぞれに感じてほしいです。その場に起きた空気を吸いにきてくださいっていうことですね。

——センターでは主にどんなことをされていますか?

本間 稽古場として利用させてもらっています。僕主宰の公演は今回が初めてです。

——今回の公演ではどのような内容ですか?

本間 僕「うる星やつら」のラムちゃんがすごく好きで、どうしてラムちゃんとあたるはあの関係が続くのかみたいな、電撃くらわせてるのに(笑) ラムちゃんとあたるを



見ていると、愛は関係を継続させることだって思うんです。あんなポップなふざけたヤツですが(笑)だからあんな人を出したいなって。恋してる人は皆、ラムちゃんみたいに浮いちゃつたら楽なんだろうなって思っています。

——だから今回のタイトルも?

本間 そう、「浮いちゃつた」になったんですよ。今回はコンセプトでいうなら恋ですね。恋した時のドキドキした気持ち。それを今回取り戻したいと思ってます。

——自分にとっての活動時間とはどんな感じですか?

本間 四六時中考えてるから難しいなー。日常でありたいとは思っています。その活動を特別誰かに見せるために加工するのは本当はしたくない。ご飯を食べるのと演劇するのが同列でありたいです。

——活動をしていて、楽しいことはなんですか?

本間 楽しい瞬間は正直ないです(笑)。もちろん稽古のときに何かを俳優と演出家が共有した時って嬉しいんですよ。でも、楽しいって感じではないんですよね。楽しいは多分もっと違う日常生活の中にあると思ってて、稽古場に楽しいは求めていません。

——辛いことはありますか?

本間 常に辛いです(笑)。稽古場って人間関係が構築されるんですよ。自分が言いたい事があつても言えなかつたり。でもいいものを創るのが一番大事だと思うから言わなきゃと思うけど。でもこの後の関係がうーってなつたら嫌だしなーとか。

——目指しているものや、今後の展望は?

本間 僕個人は愛されたいです。あと、昔よく、世界の価値観をリセットしたいって僕が昔よく言ってて。皆が物を知りすぎていて、比較で物事を語ってる。それとは別に、

すごく簡単に人に好きっていうようになったこととか、本当に好きって思ってないのに、好きっぽいから好きって言ってる気がして。LINEやSNSで距離感が分なくなってる時代だと思うんですよ。なので、そういう価値観を僕が創るものでリセットできたらなって思いますけど、それはまたいずれですかね。

——次の公演の意気込みをお願いします。

本間 見に来くるのではなく、同じ空気を吸いに来てほしい。テーマを押し付けるんじゃなくて、みんなの頭の中に想像力を喚起させるものが創るたいなって。なんかワタワタしてほしいですね。できるだけ多くのお客様に。そうなるように、努力しようと思います。なので、ぜひ観に来てください。

——ありがとうございました。



ドキドキぼーいず

劇団 HP <http://dokidokiboyz.boy.jp/>

取材/編集:夏原理恵

